

わが子褒めるは天下の馬鹿よ。他人(ヒト)の褒めるを陰で聞け！

(改訂)

(中途半端なまま出稿してしまったので改めて)

「ワタシの母親が、いつも言っていた。」と表題の言葉を言いながら、口癖のように小生の母親が語っていた。当然伏線があって、母親の甥や姪があつると、(大した頭脳でも、器量がいいわけでもないのに、また特別な人格者でもないのに)自慢話のオン・パレードだったこともある。ついには不愉快になったくらいなのだが。そやけど、そんなヤツ、どこにでもいてますやろ。

母親の母親は6人の子宝に恵まれたが、半分は夭逝した。たとえばそのひとは、樋端久利雄さん(「昭和の秋山真之」と海軍部内で大いに期待されていたが、自らが発案したイ号作戦を前に山本五十六提督と共にブーゲンビル島で戦死した樋端久利雄航空甲参謀中佐のこと。別の稿で書いたが、海軍兵学校で前後数年を通じて頭脳・体力・人格、いずれも凶抜けて優れていて、将来の日本海軍を背負って立つと期待された逸材)が小学生のときの担任が、ある日の試験の結果をみて、「頭脳明晰なる事このうえなし」と舌を巻いて驚き、手放して褒めたことがある。そういう、自分の息子が郷土の英雄を超えた(?)背景を踏まえての話である。

小生の母親が10年ほど前に緊急手術で入院していたとき、院長や部長が次々と様子を診に来てくれる。看護婦が不思議に思って「どなたか、ご家族に医療関係者の方がおられるのですか？」と尋ねた。母親は小生が成人病センターに在籍していることを語って、・・・すると、たまたま看護学院の小生の教え子が何人かいたらしく、「あの顔色の悪い先生のことですか？ あの先生は、私ら学生の立場を守ってくれはった先生なんです。あの先生のお母さんですか?!」と驚いた。・・・母親が密かに喜ぶ姿が目浮かぶようである。・・・当然、のちになってから聞いた話である。

われわれが入学した50年ほど前に人気があったのが工学部建築学科であった。医学部に行くのは、せいぜい二流どころであった。

今、なぜか医学部ブームで、成績さえよければ医学部を勧められるという。馬鹿な話で、その適性も考慮せずに入學させるものだから、適応できないのが増えてきて医療現場が混

乱している。「医者になるために医学部に入学したのか、医学部に入学した結果医者になったのか」答えがわからん、というのは数十年前からいる。医学部ブームはおそらく 10 年か 20 年で去ってしまうだろうと思っている。いくら大学に医学部を大量に設置しても、自然淘汰で、新しい医療知識についていけないものが大量にでてくる。……こいつは医療関係者になったらあかんやろ！ というのがますます増加してくる。さらには相次ぐトラブルの発生で、「引退」するまで出てくるかも知れない。まあ、引退するならそれはそれでありがたいのであるが、プライドだけは高いから、なぜか自分は一流と勘違いしているのがゴロゴロしている。ただ「グズでノロマで、気は利かなくともいなけりゃいないで不便なもの」なのだが。

旅先での話。どうみても知的にはみえない、愛嬌のない女の子がいて、別にこちらと接触しなければいてもいなくてもかまわないのだが。これが最初の頃の食事会で、医学部とわかったものだから、その場にいた人はほぼ全員「息を呑んで驚いた。」そして沈黙を保った。別に「偉いねんな」とか「賢いねんな」などと思ったわけではない。ところがこの親はそう受け取ってしまって、自慢話の連続であつたらしい。……なぜ「らしい」と言うかといえば、小生は「たぶん、これから自慢話が始まるのだろう。もしその場にオレがいたら次のようなことを言うだろう。旅先でいきなりというのも大人げないから」が理由である。

……誰しも難関といわれる医学部の学生ならこういう風貌をしているだろうという漠然とした印象を持っている。そして目の前に、その「想像図」からかけ離れた顔があつたらびっくりしてわが目を疑い、息を呑んで驚くに相違ない。これがその時の「沈黙」の理由なのだが。……そもそも医学教育に欠けているのは情操教育なのである。それも理解できずに鼻うごめかして自慢するなど、もつてのほか、云々。そんなもん先立つものがあれば、どこにでも入学できるワイ、くらいに思っている人が圧倒的に多いのである。テレビのバラエティ番組に出演しているのはその程度のレベルである。それが賢しらにも医療知識を披露しようとするから、馬鹿にされる。いくら相手が素人といっても、誰もが信用するわけではない。

大体、医学部に入学したくらいで自慢するようなものなのかネ。その自慢しいが他人の仕事盗用しようとしに来て、みんなの笑い者になった。

医学部でなくてもいくらでも自慢の種はあるらしい。ろくに年賀状もよこさなかったのが、突然年賀状を寄越して、外国留学の自慢をし始める。嘔き出してしまった。そんなもん、円高のとき、ミーちゃん・ハーちゃんまでわれもわれもと海外旅行に行ったが、それのちょっと長いバージョンやろ。鼻で嗤って捨ててしまった。英語が話せるくらいで自慢するほどのものなの？

学校の教師にも、英会話とコンピューターとができれば一流と信じ込んでいるのがいるという。そこには肝腎の「**子供を教え育む**」能力が欠けている、勘違い男女が結構いるらしい。

試験の成績つまり学力と性癖と人格とは並行するものではない。それぞれ独立しているものである。**自らの利害得失だけが判断の基準**になっているのは山ほどいます。いわば人間のクズみたいなものもいくらでもあります。……民主党政権でみんなわかったはずやろ。しょうもないことを自慢する時間があるなら、もっと**自分を磨け！！**

**本当に偉ければ、他人様が褒めてくれるよ。**